

ブタクロール乳剤 マーシエット乳剤	取扱メーカー： 日産，日農 原体メーカー： 日産
成分： ブタクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕……………32.0% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………15% エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………2.0% 1,2,4-トリメチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………15%	性状： 紫色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- 問題雑草のアメリカアゼナ，イヌホタルイなどにも有効な初期除草剤である。
- 残効性に優れるので，ゆとりをもって，中期剤や一発処理剤につなぐことができる。
- 植代時に容器から直接散布できるので省力的。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 雑草の発生前から発生始期に有効なので，ノビエの1葉期または発生前までに時期を失しないように散布する。なお，多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので，必ず適期に散布するよう注意する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ヘラオモダカ	発生始期まで
ミズガヤツリ	発生前

●原液湛水散布で使用する場合

- 植代かき直後か，代かき後まだ水がにごっている時，あるいは移植後に湛水深を3～5cmに保ち，原液のまま均一に散布する。
- 散布は製品容器を手で左右に大きく振って行う。通常，一振りで左右各4mずつ計8mの幅に散布することができる。

●直播水稻に使用する場合

- 乾田状態で使用する。
- は種後に湿潤状態が続くと苗立不良のおそれがあるので使用しない。
- 入水前処理では，本剤散布前に発生した雑草を防除しておく。
- 薬害のおそれがあるので，は種後の覆土が極端に浅い条件で使用しない。

- 広葉雑草（特にコナギ）には，効果が劣ることがあるので，それらの多発田では使用をさける。

- 共通注意事項の5．水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5．水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

- 活着遅延を生じようとする異常低温では，初期発育の抑制などが生じることがあるので，このような条件下での使用に際しては，病虫害防除所等関係機関の指導を受ける。

- 適用作物（水稻）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 魚類に影響を及ぼすので，使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので，使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	ブタクトールを含む 農業の総使用回数
			薬量	希釈水量			
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	植代直後 (移植7日前まで) 又は 移植後1日～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで	300 ～ 500 ml	—	1 回	原液湛水 散布	2 回以内
		乾田直播のは種 直後～稲出芽前 (雑草発生前) (入水15日前まで)	1000 ～ 1500 ml	50 ～ 100 ℓ		全面土壌 散布	
マツバイ ホタルイ	乾田直播の入水前 10日～2日		500 ml	100 ℓ			